

地域が主役のまちづくり 地域サポーターの紹介

健康増進センター
☎049-252-3771



高田 由美 さん
(鶴馬在住)

富士見市母子保健推進員
連絡協議会

母子の健やかな毎日の お手伝いを

市の母子保健推進員は現在84人。市長からの委嘱を受けた私たちは富士見市母子保健推進員連絡協議会を組織し、協力して活動をしています。私たちの主な活動は、乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん事業）です。生後2〜3か月の赤ちゃんがいるすべての家庭を対象に訪問しています。訪問では、赤ちゃんやお母さんのようすを伺い、子育てに必要な情報をお伝えしています。育児に関する不安や悩み事を軽減できるような話を聞き、必要に応じて保健師へつないでいます。また、赤ちゃんやお母さん同士の交流を深めるた



わくわく子育てトークングのようす

め、わくわく子育てトークングやファミリーコンサート（P19参照）を企画・運営しています。わくわく子育てトークングは市内各公民館などでファミリーコンサートは年に一度キラリ☆ふじみで開催しています。活動を通じて、地域に密着した新しい情報を共有し、一緒に活動する推進員と交流を深めたり、なによりも赤ちゃんと接することで、私自身が癒されています。私たちの活動が、市の未来を担う子どもたちや、子どもたちを支えるお母さんたちのお手伝いになれば幸いです。活動していきたいと思います。

みんなで作る

公共施設の「これから」

管財課 ☎554

市では、社会情勢の変化や施設の老朽化などを踏まえ、今後の公共施設のあり方を考える「公共施設マネジメント」に取り組んでいます。

集中して建設された市の公共施設

市の公共施設は昭和40～50年代に多く建設されました。小中学校をはじめ多くの公共施設が竣工から45～50年を経過しています。

各施設は、これまで大規模改修や耐震補強などの処置を行っているため、安全性は確保されていますが、経年劣化により建物そのものの耐久性は低下していきます。

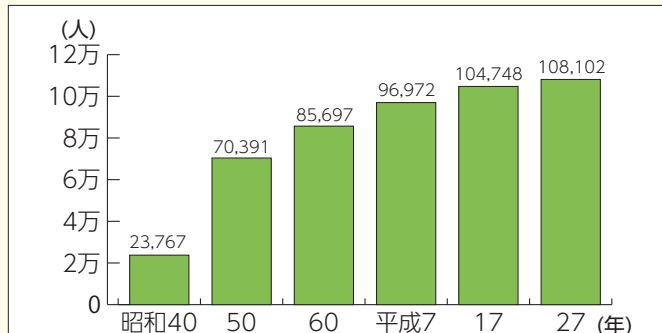
市の公共施設竣工の年表

| 年 | 竣工施設 |
|-------|-------------------------|
| 昭和42年 | 鶴瀬小 |
| 昭和44年 | 関沢小・水谷小 |
| 昭和46年 | 勝瀬小・本郷中・第二保育所 |
| 昭和48年 | 水谷東小・老人福祉センター・市役所・第三保育所 |
| 昭和49年 | 第四保育所・第五保育所 |
| 昭和50年 | 諏訪小・健康増進センター・第六保育所 |

背景には急激な人口増加

この背景には、日本の人口の急増がありました。昭和40～50年に市の人口は3倍になりました。急激な人口増に対応するため、市では小中学校、保育所などの公共施設を整備する必要があったのです。

市の人口の推移



市では、市民の皆さんと公共施設の在り方を一緒に考えていくため、今年度は7月に公共施設マネジメント講演会を、9月から公共施設マネジメントゲームのワークショップを開催しています。これからも意見をいただく機会やワークショップなどを開催していきますので、ぜひご参加ください。